

立川はかなり都会だった 2010 年日本計量生物学会年会

佐藤俊哉 京都大学医療統計

2010 年 5 月 20 日(木) 応用統計せず

昨年の年会在ブタインフルエンザのせいで流れ、統計関連学会連合大会で年会を実施したため、実質的には今年が会長となつてはじめての年会である。場所も立川に移転して新しくなった統計数理研究所で、ということになり施設は充実していいのだが、今年は計量生物学会が当番であるためいろいろと準備をしなければならず、はじめてのところなので勝手が分からないので庶務理事、企画理事、事務局と下見にきたり、前日入りしたりといろいろと気苦労が多い。

今日は9時半から応用統計学会であるが、7時半に起きて8時に3階のレストランに朝食に行く。まあまあのバイキングで宿泊料金についているので十分なのだが、1300円はないだろう。今朝は和食にして、鮭、ひじき、きんぴら、納豆、ポテサラ、シュウマイ、ご飯に具たっぷりの味噌汁(とエレベータ内に宣伝があった)を食べたらお腹一杯になってしまい、コーヒーを飲んで出かける。

ワシントンホテルは立川南駅にすぐで、そこからモノレールに乗って4分、立松駅で降り今度は徒歩で統数研まで5分ちょっと。今日は予報では雨だが、どんよりと曇っていて蒸し暑い。事務に寄って客員の部屋のカードキーをもらい、年会受け付けに行くと久留米大の服部先生が来ていた。服部さんも企画理事。統数研の庶務 須藤さんが「田村先生にいわれた」とかでずっと詰めていてくれて大助かりだった。応用統計の鎌倉会長、椿次期会長、統数研の田村先生などにご挨拶し、さてどうしようかとぱらぱらと予稿集などみるふりをするものの、応用統計に出るのはやめて参加費5000円は今晚の軍資金に回すことに決定した。

年会在はじまったので失礼して、藤田先生のお部屋にお邪魔し、コーヒーをご馳走になる。リスク解析戦略研究センターの部屋などを案内してもらう。10時過ぎに失礼して客員の部屋に戻り、来週の医療統計講義とリリースpringセミナーの準備。ゆうべ、今朝と食べ過ぎたので食欲がなく、お昼は抜いて仕事を続ける。うっかり水のボトルをホテルに置いてきてしまい、3時前になったので会場の様子を見がてらコンビニに飲み物とおやつを買いに行く。と、ラウンジを通りかかると服部さんと統数研の逸見さんがなにやらよからぬ話をしているようなので、部屋に入って少し話す。バイアスアナリシスのこととか二重ロバスト推定量のことなどよもやま話をして、コンビニに。セブンイレブンで水と野菜ジュース、ロールケーキを買い、部屋に戻って野菜ジュースとロールケーキを食べ再び仕事。

ようやくspringセミナーの準備が終わり、5時になったので応用統計の年会会場に行く。明日の計量生物では補助椅子をならべるかどうか迷うものの、事前登録が思ったほど多くなかったのと、すでに30くらいは椅子をならべてあるので、事務局の田澤さんと、明日様子を見てだそう、ということにした。応用統計学会総会の間、外で須藤さんとまたまたよもやま話し。総会も終わり、あとは須藤さんが鍵を閉めてくれるというので、誰か一緒に飲みに行かないか

と見るとリリーの竹綱さんがいたので声をかける。

竹綱さんは早稲田大学の永田先生と飲みに行くことにしているそうなので合流させていただくことに。永田先生は応用統計の編集理事会に出ているので、一旦ホテルに戻って荷物を置き、立川南駅で待ちあわせる。7時半ごろ永田先生、東洋大学の渡辺美智子先生、宮崎大学の藤井良宣先生と一緒に事前でネットで調べておいた地酒のある駅近の居酒屋〔味工房〕に。座敷に5人で陣取り、永田先生とはいろいろとお噂は聞くものの初対面だったのでご挨拶してビールで乾杯。さてなにか注文しましょう、と永田先生今日のおすすめを見て「ここからここまで全部」とへんなところで大人買いを提案。あとは串焼き盛り合わせ、木の子炒めなど。日本酒をチェックすると600円から1000円までの値段に全部斜線が引いてあり「1合500円」と書いてあるではないか。

ビール一杯だけで日本酒に切り替える。最初にまだ飲んだことのない秋田の白瀑を頼んだのだが、一番高い千円だったため品切れとのこと。じゃあ磯自慢をとってよくみたら「滝自慢」。三重のお酒でしたがなかなかおいしいお酒だった。9時ごろあまりお酒が飲めないという渡辺先生、藤井先生を帰して3人で本格的に飲み続ける。もはや3人とも日本酒。土佐のしらぎくを飲んだのは憶えているのだが、あとはなにを飲んだか合計5合は飲んだかもしれない。完全に飲みすぎ。いろいろと悪巧みをして気がつくと12時前。永田先生がもう帰れないと騒いでいる。

立川に泊まるというので、まあそういわずにと駅まで連れて行き、11時56分の東京行き快速があったのでそれでいけるところまで行く、ということで分かれる。ホテルについてシャワーを浴びるともう一時。明日も早いのに大丈夫か?状態で、しかも明日からが本番であるのに。とりあえず寝る。

5月21日(金) 学会本番

7時半に目覚まし鳴ったがゆうべの飲みすぎがたたって45分になんとか起きて顔を洗って朝食へ。さすがに食欲がないので、グレープフルーツジュース、ポテサラ、野菜サラダ、パン、コーヒーと簡単な朝食で済ませ、統数研に向かう。今日は快晴で29度の予報なので半そで。9時20分に到着し、一応会場をのぞいてチュートリアル講師三中先生によろしくとご挨拶して午前はまだ客員の部屋で仕事。どっちみち11時半から理事会なのでチュートリアルに出ても途中で抜けなければならない。(と三中さんにいいわけをしておく。)

二日酔いの影響はさほどなく、今朝はスプリングセミナーの残りをやっつける。理事会の時間が近づいたので、所長室にいて北川所長にご挨拶し、少しお話した後理事会に。食欲も戻っていてお弁当はおいしく食べられた。理事会は会計以外はつつがなく終わり、会計理事はもっとしっかりするように。

さあ午後からいよいよ年会のはじまり。最初に会長として挨拶し、臨床試験のセッション。と、開始してしばらくすると前の入り口から黒いものがのっそりと入ってくるではないか。野間がまた遅刻で、ほんとうにふざけたやつである。あとで怒ってくれることにした。最初の塩野義の2

題はほかのことを考えていて聞いていなかったが、では次の寒水先生の発表はちゃんと聞いたかという、そんなことはない。でも柴田先生から Fisher の正確な確率とほかの方法で検出力を比べるのはよくない、丹後先生から相関が負の場合を考える必要があるのか、と突っ込まれていたのはちゃんと憶えているのが不思議。最後の講演はひどかった。休み時間に野間を叱る。

寒水先生からおとといは高田さんと飯島の面接練習をしたこと、飯島から昨日の面接はうまくいったと聞いたことの報告を受ける。飯島の言うことなので、どこまで信じていいのやら。次のセッションは医薬品・臨床研究で、横浜市立の田栗さんの発表に少し質問する。最後のセッションは統計的推測というなんでもありのくくりで、久留米大の川口さんがランダム化にもとづく解析をしているはずなのに「あれっ?」という発表だったので、わたしを含めみんなから突っ込まれていた。初日の講演は終了したものの、これから評議員会。隣の席の成蹊大 岩崎先生から、奥さまが医療統計ホームページのファンであり、よなよなエールを飲まれているとのこと。ありがとうございます。

評議員会后、大森先生、寒水先生と食事にでも行こうと思っていたのだが、寒水先生は用事があるとかで先に帰ったそうなので、大森先生と二人でモノレールの駅に。すると久留米大の柳川先生、国立国際医療研究センターの石塚先生、寒水先生がまだホームに。柳川先生開口一番「あんたが変なこと書くから」というのでなんのことかと思ったら、なんでも学会場に行く途中、立川駅で柳川先生と寒水先生が一緒になり、柳川先生が「立川まで歩こう」といったところ、寒水先生は「先生と一緒にだどこに連れて行かれるか分からないのでモノレールで行きましょう」といったとのこと。

(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbs/newsletter/all/kaiho102.pdf> 参照)

寒水先生にどこに泊まっているのか聞くと、これから実家に帰って泊まるとのこと。柳川先生も誘おうかと宿泊場所を聞くとこれがなんと「中目黒」。いくらなんでもそれはないでしょう。大森先生はおなじホテルだったので一度荷物を置いて食事に出る。大森先生と食事に行くのは簡単で「カレーにしよう」と言えば絶対にノーとはいわないのでカレーを食べに行くことに。グランデュオにあるムガールというレストランでまずビール大、そしてシーフード、ほうれん草とチキン、野菜のカレーをナンとともに注文。どれもおいしかったのだが、残念ながら 2 月にマニパルで食べたカレーには遠くおよばない。大森先生も同意見だった。

昨日飲み過ぎたのでビール中を追加しただけで終わり。ナンが大きくて少し残してしまう。お腹一杯だ。食料品売り場で水とプリンを買って 9 時ごろホテルに戻る。シャワーを浴びてテレビをみたり本を読んだりしながらおととい買った日本酒の残りとお白生ビールを飲んでほろ酔い加減で 12 時ごろ寝る。

5 月 22 日(土) 野間いいかげんにしろ

今朝は 7 時半に起きて 8 時に朝食に行く。と、久留米大の川口さんがエレベータを待っていたので一緒に朝食に。今朝はたっぷり食べてお昼は軽く済ませる予定なので、さわら、鶏

の煮物、なっとう、シュウマイ、ポテサラ、漬物、ご飯に「具たっぷりの味噌汁」。川口さんもチャペルヒルに行っていたので、チャペルヒルのことや昨日の講演のことなど話し、学会のときは柳川先生の宿も一緒に手配するようになどとあって、コーヒーを飲んだ後一足先に部屋に戻る。パッキングを済ませ、今日は帰りの接続がぎりぎりなので立川駅で西荻窪までの切符を買い、コンビニでお昼のサンドイッチをゲットし立川北駅に行くと嘉田さんとぼったり会う。

今日は米本さんもくるといっていたなどと話しながら会場へ。最初はゲノムのセッション、探索医療センターの吉村先生の講演を聴いたあと、きのうメールがあった受験希望の学生さんと待ち合わせのためそとと抜け出す。途中米本さんに就職が決まっておめでとうと声をかけ、受け付けに。しばらく待ったものの現れないので事務局の田澤さんに「これここの学生さんがきたら、待っててもらってください」と頼むと、その学生さんならもう受け付けして会場に入っているとのこと。なーんだ、と会場に戻る。休み時間に、飯島と会い、面接はうまくいったとのこと、うーむ。

野間にもう一度きつく学会には遅刻するなど叱って、次のセッション疫学ではその野間の発表。いつもでだしは流暢過ぎるほど流暢なのだが後半失速する癖は相変わらず。セッション終了後直ちに総会に突入する。まず学会賞の授賞式があり、奨励賞は東大の上村さんと久留米の川口さん、おめでとうございます。さて、功労賞はたいへんだった。今年も学会賞、功労賞ともに推薦がなかったので、延長したところようやく前山の内製菓の魚井さんが推薦され、やれやれと思ったのもつかの間、なんと魚井さん2007年に退会していたとのこと。それでもみなさんのご支援のおかげで功労賞に決定し、今日はどんな顔して出てくるのか楽しみにしていたが、バツが悪そうでもなく割りと普通にでもちよびりうれしそうにやってきた。

表彰式の後には通常総会で、こちらはつつがなく終了した。お昼を食べ、柳川先生、癌研の松浦先生と少しお話しして、午後はわたしが司会の特別講演である。と、性懲りもなく野間がまた遅刻して会場に入ってくるではないか。今後の動向によっては野間にしばらく学会禁止令を出すことになるかもしれない。丹後先生の特別講演は時系列的に「作品」の紹介とのことでしたが、途中ご本人もいっていたように「これは自慢です」とのこと。(笑)

やれやれお仕事は終わり、あとはまたまた三中さんがオーガナイズの特別セッション。2時間半に6人の講演者をつつこんだため、各人みな早口でなじみのない話をするので、なにがなんだかさっぱりわかりません、状態。しかしあんな複雑なモデルを仮定しているが、データから識別可能なのだろうか。最後に三中さん、「(複雑なモデル化は)どこまで行くんでしょう」と振ったところ、モデル選択がひとつの答えだと会場から意見があったが、あなたページアンなんだからモデル選択ではなく、すべてのモデルに事前確率を割り付けて事後分布をもとめるべきでしょう。

やっと終了したが、まだ最後にIBC2012の国内組織委員会が残っている。しかしもう心は京都に行っている。そそくさと5時50分に統数研を後にし、モノレールの駅に向かう。ここで6時5分発に乗らないとアウト。しばらく待ち時間があり、大森先生、悠々自適の森川さん、農環研の三輪先生、慶応大の南先生に追いつかれてしまった。立川で6時15分の特別快

速に乗らないとこれまたアウトなので急いで乗り換え、森川さんも7時50分ののぞみを予約していたのを7時10分に間に合うのでエクスプレス予約で変更していた。大森、森川、佐藤で東京駅に向かい、3人で話しながらだったので50分もあまり長く感じないのは不思議。

東京駅でそれぞれ別れ、短い時間しかないのもかく酒をゲットし弁当は夕刊フジおつまみ弁当と決めていたのだが、売り切れたのか見当たらず一瞬途方にくれかけたが途方にくれている暇なんてないので、竹若で580円の巻物セットと串揚げ屋で3本セット480円を買ってぶじにのぞみに乗る。もちろんエビスビールと文佳人の1合びんはゲット済み。ようやくつろいでのんびり。長い東京出張だった。

今回ははじめての場所ということであったが、統数研の須藤さん、田村先生、松井先生、藤井さんにはたいへんお世話になった。おかげでいい年会になってよかった。